

理科の学習について（第2学年）

1 理科の目標

自然の事物・現象に関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
○化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量 ○生物の体のつくりと はたらき ・生体の体をつくるもの ・植物の体のつくりと はたらき	○生物の体のつくりと はたらき ・動物の体のつくりと はたらき ・動物の行動のしくみ ○地球の大気と天気の変化 ・地球をとり巻く 大気のように ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	○電流とその利用 ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。 (観察や実験の取り組みの様子、定期テスト 等)
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する。 (提出物の内容、定期テスト 等)
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する。 (提出物の内容、授業への取り組みの様子 等)